

エンターテインメント

ビジネスプロジェクター 導入事例

使用機種: EB-L30000U×2台

用 途: 3Dプロジェクションマッピング

ハウステンボス株式会社

所在地:長崎県佐世保市 ハウステンボス町1-1

最寄駅:JR九州大村線 ハウステンボス駅

ホームページ:<https://www.huistenbosch.co.jp/>

日本一広いテーマパークであるハウステンボスは、152万m²もの広大な敷地にオランダの街並みを再現している。花と光の感動リゾートとして多数のアトラクションなどが実施されており、イルミネーションや3Dプロジェクションマッピングに注力している。この3Dプロジェクションマッピング用にエプソンのプロジェクターが導入された。その背景や効果などについて、ハウステンボス株式会社の辻本 剛さんと、企画などを担当された株式会社シェルカの瀬口伸一さんに伺った。



型 番:EB-L30000U

価 格:オープンプライス 明るさ:30,000lm スクリーン解像度:4K(注)
(注)シフト技術を採用した4K相当の解像度となります。



Before 導入課題

- 明るく、高コントラストで色鮮やかに投写したい
- 縦置き可能なレーザー式で建物全体に投写したい
- ランプ交換の手間や排熱の多さを軽減したい

After 導入効果

- 締まった黒で高コントラスト、明るさや色も想像以上
- 短焦点レンズ使用で縦置き2台で広範囲が投写可能に
- レーザーモデルでランプ交換や排熱の心配が少なく、起動も高速

3Dプロジェクションマッピングは、パーク内のアムステルダム広場にあるスタッドハウスにて実施。コンテンツは2か月ごとに(年6回)入れ替わり、多いときには500人程のお客様が集まる、夜の人気イベントになっている。

「レーザー式で縦置きが可能。黒の締りの良さが一番の選定理由です」

導入背景

辻本さんにプロジェクター導入に至った経緯について伺いました。ハウステンボスでは、テーマパークとしては最初期となる2011年から本格的な3Dプロジェクションマッピングを行い、お客様から好評を博しております。ただ、最近はほかのパークが実施する同様のイベントにスペック面で追い付かれ、やや見劣りする状況でした。そこで、明るさなどの面で有利な最新のレーザー式を前提に機材の更新を検討しました。

加えて瀬口さんによると、従来使用していたランプ式プロジェクターは、発熱量が大きく設置場所が暑くなること、定期的なランプ交換が必要であること、横置きに限定されるため、縦方向の映像には明るさの面で口数が多く3台必要だったことなども導入決定の要因になったとのこと。

選定理由

機材選定は、十分な明るさが確保できてコスト面でも有利ということで、30000lmのレーザー式プロジェクター2台を縦置きにして使用することとし、他社製品との比較を実施しました。すると、エプソンのEB-L30000Uは細かい調整をしていない状態でも黒い部分が締まって見えて映像全体のコントラストが高いと感じられ、これが一番の選定理由になりました(辻本さん談)。本機は3LCD方式ということもあって黒が美しく、コントラストが高くプロジェクションマッピングに向いていると感じました。プロジェクターの設置場所が限られていて、投写距離を長くすることなどが難しいため、短焦点レンズが必要でしたが、その点でも本製品は充実しており、今回の設置状況に最適でした(瀬口さん談)。



ハウステンボス株式会社 マーケティング本部
イベント企画部長代理 兼 イベント企画課長
辻本 剛さん

株式会社シェルカ
専務(技術部部長兼務)
瀬口伸一さん



プロジェクターは、お客様に違和感を与えないように広場に配置したバスの2階に設置され、映像はバス後部の窓越しに投写(写真・左)。設置場所には、縦置きのプロジェクター2台と制御用のパソコンがあり、時間になると自動で投写される。2021年春に従来の機材から更新され、夏以降は本格運用されている(写真・右)。

「映像の質の向上が、スタッフの自信や誇りにもつながっています」

導入効果

従来よりも圧倒的に明るく、高コントラストな映像を投写できるようになりました。本機は、解像感や色の面でも優れています。排熱が減ったのも良かったと思います。温度が上がり過ぎると自動停止する可能性もあり、夏の暑い日などは心配でしたが、今は安心できます。お客様から映像がきれいといった声が聞かれるのは勿論、実はスタッフからの評価も高く、以前よりもきれいになった、明かりを残した状態でも映像がはっきり見えるといった声が聞かれ、喜んでいたのが印象的でした。本機の導入により、スタッフが自信や誇りを持って「ハウステンボスの3Dプロジェクションマッピングは凄い」といえるようになったのは大きなメリットの一つです(辻本さん談)。

本機は建物全体を余裕でカバーできるので、コンテンツ制作がやりやすかったです。細かい動きがはっきりと見え、アートとしても成立するレベルになっています。コンテンツの作り込み甲斐があると感じています(瀬口さん談)。



3Dプロジェクションマッピングの映像は、近くで見ても十分な解像感がある。従来のランプ式(1600lm×3台)では、ややぼやけた印象だったという。

今後の展望

当施設のミッションの1つに「いかにパークの認知度を上げるか」があります。その点、お客様が写真を撮って発信していただけるSNSは、非常に強力です。プロジェクトマッピングなどは、そうした被写体としての役割もありますが、いかに撮影スポットを多数ご用意できるかも重要。そのため、プロジェクターを用いたコンテンツも今後増えると思います。当施設ならではという意味では、3Dプロジェクションマッピングのような、街並みを生かしたものを増やすのも魅力的です。このほか、お子様が安全に楽しめるような体験型映像コンテンツも制作できたらと思います。現在、夜のコンテンツは2か月毎のハイペースで入れ替えています。これには、リピーターになって1年中楽しんでほしい、特に九州の方に楽しんでいただける、地元の皆様に愛されるパークでありたいという想いがあり、今後も続けたいと考えています(辻本さん談)。

導入の ポイント 機能



全白
30000lm
カラー
30000lm

3LCD方式ならではの
色再現性と明るいカラー

全方位
360°
設置

天井や床などへの投写
縦長での投写が可能

そのほかの 導入事例

「日中も楽しめる屋内のプロジェクションマッピングも好評」

使用機種: EB-L1495U×3台、EV-105×1台

用 途: エンターテインメント用
プロジェクションマッピング

当施設では、屋内のプロジェクションマッピングなどにもエプソンのプロジェクターが多数採用されています。今回は、光のファンタジアシティにあるアートファンタジア内のプロジェクションマッピングを取材させていただきました。ここでは屋内の壁面の180度を超える範囲に映像を投写しているほか、透過型スクリーンを用いて人物の映像を立体的に浮かび上がらせるといった演出が行われていました。辻本さんによると、この場所は2021年に実施されたエリア全体のリニューアルに合わせて改裝。最近はイルミネーションを楽しみに来場されるお客様が多く、屋内のプロジェクションマッピングやイルミネーションについても、「日中も楽しめた」「雨の日でも楽しめた」という声が多く聞かれ、メインテークメントである若い女性、お子様などから好評とのことです。



アートファンタジア内のプロジェクションマッピング「美しい映像と音楽が奏でる恋の物語」。
EB-L1495Uを3台用いて、180度を超える壁面に映像を投写することで、没入感の高い映像演出を行っている。「十分な明るさと解像感、鮮やかな色再現で満足できる仕上がりになった」(辻本さん談)とのこと。



型 番: EB-L1495U

価 格: オープンプライス
明るさ: 9,000lm
スクリーン解像度: 4K(注)

(注)シフト技術を採用した4K相当の解像度となります。

型 番: EV-105

価 格: オープンプライス
明るさ: 2,000lm
スクリーン解像度: WXGA



中二階の比較的目立ちにくい位置に3台のEB-L1495Uを配置。場の雰囲気を壊すことなく、広い範囲へのプロジェクションマッピングを実現している。



左の写真のように中二階の一部に透過型スクリーンを配し、天井にEV-105を設置。右の写真のように透過型スクリーンに人物の映像を投写することで、立体感のある映像演出を可能にした。